

I'm home

communication



2022
vol.73

soukensya
TEL:0246-68-6111 FAX:0246-80-2103
http://www.soukensya.co.jp
E-mail:info@soukensya.co.jp

I'm Home

I'm Homeは創建舎が編集発行するフリーペーパーです。
私たち創建舎は家づくりを通して、日々の暮らしが豊かで笑顔の多い生活であることを願います。そして、環境に優しい家づくりをこれからも目指します。

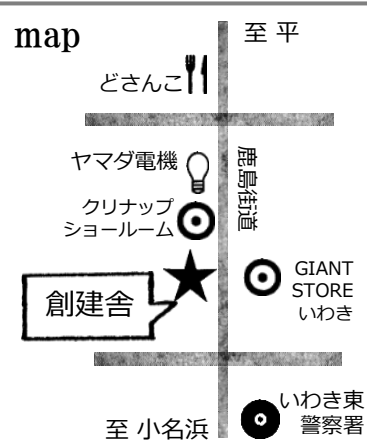
～ STAFF便り ～

年々、インターネットで商品購入する事が増えていくようになりました。
その中で見つけた、「Makuake」というサイト。数年前から流行っているクラウドファンディング型のサイトでした。自身が応援したい物のサポーターとなり応援購入という形で参加していく事が出来ます。その間にも、提案や意見をコメントで残したりなど㊤
ここで楽しいのは、新しく生まれるもの・これから世の中に広がっていく商品を見つけて購入出来ること。なので、自分だけが先取りして知っている商品に出会えるかもというワクワク感㊤その届くまでの過程も製作やその過程も分かることです。ネットが普及して商品購入などクリック1つで出来る中で、体験しながらお買い物出来るのはまた楽しいかもしれないですね。

また、新たな挑戦・可能性が沢山あるのを見てるだけでも楽しめます。 K

編集後記

プロテインとコーヒーを組み合わせた「プロフィー」というドリンクがトレンド!!
ここ数年で一気に需要が高まっているプロテイン。ホエイだけでなくソイやビーなどバリエーションも増えコンビニでも当たり前で購入できるようになるなど、幅広い人が日常的に取り入れるようになってきています。
SNSでバズっているのが、コーヒーと混ぜて飲む「プロフィー（proffee）」
人気を集めている最大の理由が、1杯でも空腹感を抑えられること。でも「プロフィー」にすれば、プロテインを追加することで1杯でも満足感が得られて、午前中のパフォーマンスを高めてくれる。コーヒーに混ぜることでプロテインの独特の風味がカモフラージュされることや、コーヒーに砂糖を加える人は甘めのフレーバーのプロテインを選べば砂糖の量を減らせることも㊤一度試して見る価値はあるかも㊤



〒971-8146
いわき市鹿島町御代字九反田51-1
株式会社 創建舎
TEL 0246-68-6111
FAX 0246-80-2103
HP http://www.soukensya.co.jp
E-mail: info@soukensya.co.jp
Facebook ID: iwaki.soukensya
Instagram : soukensya
建設業/福島県知事(般-1)第31516号
宅地建物取引業・福島県知事(5)第2277号
一般建築士事務所/福島県知事18(705)0372号

2022年 最初のイベント! 構造見学会

1月29日 土 30日 日 開催 ～*◇*◇～

午前 10 : 00 ～ 午後 4 : 00 迄

いわき市薄磯二丁目14-1 (右QRより読込)



現在、土地情報にも記載している【いわき市薄磯二丁目】モデルハウス建設現場にて構造見学会を開始します。海に見える高台に、平屋プラスのモデルハウスです。なかなか見れない瞬間をお見逃しなく。今回は、「夢（dream)パネル」を使って建てられています。構造見学会では、建てられてからは見られない部分が見れる「建築中」の貴重な見学会となっています。
自信があるからこそ見せられる理由がここにはあります!! 完成見学会の様にデザイン性や間取りや暮らしのイメージとは違い、内部の構造のずっと大事に暮らす家だからこそ見ておきたい重要な部分になります。今から見ていると完成した時がより違った目線で見える事が出来て楽しめますよ!!!

- ❑ 全館冷暖房空調設備 ～オールシーズン快適に暮らせる～
- ❑ 木製サッシ 高性能 トリプルガラス ～断熱の高さを実感できる～
- ❑ 長期優良住宅 ～長く安心・快適に暮らせる 体に良い家体感～
- ❑ 含水率15%以下の無垢材使用 ～木の乾燥は大事なポイント～
- ❑ 床と壁が強いから地震がきても安心 ～守られる家～

気になる話題

フランスのペットショップでは、犬猫が販売禁止に？ 2人に1人は、ペットを飼う国がなぜ？



2024年1月から、ペットショップでの犬猫販売禁止の法律が、昨年11月に可決になりました。飼いたい場合には、ブリーダーからの直接の購入が保護施設からの引き取りのみに限られます。そして、責任を持って飼育する誓約書の提出も義務付けられるそうです。フランスは動物虐待に対する意識が高く、雄ヒヨコ㊤の殺処分禁止 2026年はイルカ・シャチのショーの禁止 2028年は、サーカスでの野生動物の禁止なども決まっています。

そんなペット愛好国フランスですが、フランスでは毎年10万匹のペットが捨てられている現実もあります。この法律が出来た理由は、扱いの悪さ・売れ残り処分との悪質なショップの問題と買う側もお金さえ払えば簡単に飼う事が出来てしまい、結果的に手に負えないとの理由で捨てる行為が後を絶たない事が理由だそうです。もちろん中には、購入時後にケアを行うショップもありますが、営利追求型ショップと衝動買いする飼い主の組み合わせを減らす事こそが、最も効果的と判断されたのでしょう。

日本でも、コロナ禍のステイホームで、犬猫市場も拡大してはいますが犬が年間15万円・猫が10万円かかる費用（エサ代・ワクチン代・治療費）負担に経済的に耐えられなくなる場合や、飼い主都合でペットに対し面倒見れなくなるなど、今後捨て犬猫が増える事が懸念されています。自身の加齢とペット高齢化が重なり面倒が見切れなくなるといった事も起きています……。世界で動物に対する意識が変わってきた時に今後、日本はどのような対策をとっていくのでしょうか。



